



COVID-19

新型コロナウイルス感染症以後の 観光研究

日付 : 2020年7月5日 (日) 14:00-17:30

会場 : YouTubeライブ配信
(https://youtu.be/ZNTcW1_-CpY)

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) は、現代における私たちの「生 (lives)」のあり方に大きなインパクトをあたえた。だが同時に私たちは、移動の自由、集まることの自由、遊ぶ自由を簡単に手放すべきではないだろう。では、新型コロナウイルス感染症以後の観光研究は、それらの自由をいかに呈示できるのか。シンポジウムでは、新たな観光研究の可能性を問う。

挨拶

藤巻正己 (立命館大学)

パネリスト

須藤廣 (法政大学)

高岡文章 (立教大学)

松本健太郎 (二松学舎大学)

神田孝治 (立命館大学)

遠藤英樹 (立命館大学) (兼 : コーディネーター)

コメンテーター

橋本和也 (京都文教大学)

石野隆美 (立教大学大学院)

主催 : 立命館大学人文科学研究所 重点研究プログラム「グローバル化とアジアの地域」

共催 : JSPS科研費 基盤研究 (C) 20K12442 「グローバルなアジア世界の共生を志向する
ポリフォニック・ツーリズム (多声的観光)」 (研究代表者 : 遠藤英樹)

お問合せ : Tel 075-465-8225/E-mail jinbun@st.ritsume.ac.jp

